

鳥取大学医学部附属病院 薬剤部 卒後臨床研修プログラム

1, 研修体制

【医学部附属病院教育研修委員会】

医学部附属病院における新人教育等研修プログラムおよび実績報告について、多職種で協議する。職員研修担当副病院長、主任診療科長、診療施設等の長、薬剤部長、看護部長、事務部長で構成される。

【卒後臨床研修プログラム管理の組織と責任者】

研修施設	鳥取大学医学部附属病院
研修プログラム責任者	薬剤部長（藤吉正哉）
指導薬剤師	藤吉正哉
指導者	教育担当グループ 涌嶋 伴之助、平井 和浩、齋尾 真希、竹崎 正明、 新居 裕一郎、中田 夏稀
メンター	研修プログラム責任者が、研修者1名に対し1名を任命する。

【理念】

患者に安全で適切な薬物治療を提供できるジェネラリストを育成する。

【基本方針】

- (1) 患者背景に基づき処方 of 妥当性を評価し、適正な調剤および調製ができる技術を習得する。
- (2) 分野に関係なく、他の医療スタッフと協働し、チームとして患者本位の医療を提供できる基礎的臨床能力を身につける。
- (3) 病棟研修および症例検討会で、一般的な疾患に対する基本的な薬物治療を学修する。
- (4) 生涯にわたり自己研鑽を継続する能力を涵養する。

2, 到達目標

薬剤師としての基盤形成の時期に、医療の担い手の一員として、薬学の視点を「チーム医療」に反映するための臨床能力を養成することを目的として、薬剤師としてのプロフェッショナルリズムおよび資質・能力を自らのものとし、基本的薬剤師業務の実践スキルを修得することを目標とする。

1, プロフェッショナルリズム

- (1) 社会的使命と公衆衛生への寄与
- (2) 人間性の尊重
- (3) 自らを高める姿勢

2, 資質・能力

- (1) 医療における倫理性
- (2) 薬学知識に基づく実践能力及び問題解決能力
- (3) 服薬指導等に関する技能と患者ケア
- (4) コミュニケーション能力
- (5) チーム医療の実践
- (6) 医療の質と安全管理
- (7) 社会における医療の実践

3, 基本的薬剤師業務

- (1) 調剤業務
- (2) 医薬品の供給と管理
- (3) 医薬品情報管理業務
- (4) 病棟業務
- (5) 無菌調製業務
- (6) がん化学療法
- (7) 医療安全
- (8) 感染制御
- (9) 地域連携
- (10) TDM（当院独自業務）

3, 研修の方略

研修期間の1年間で、(1) 調剤業務、(2) 医薬品の供給と管理、(3) 医薬品情報管理業務、(4) 病棟業務、(5) 無菌調製業務、(6) がん化学療法、(7) 医療安全、(8) 感染制御、(9) 地域連携、(10) TDM、(11) ICU の薬物治療を研修することで、基本的薬剤師業務を修得し、薬剤師としてのプロフェッショナルリズムおよび資質・能力を醸成する。

研修プログラム概要

研修期間	1	年間			
研修病院 (代表病院)	鳥取大学医学部附属病院				
研修協力病院 (パートナー病院)					
研修協力薬局 (パートナー薬局)					
区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	全期間	4月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	幅広い領域の薬剤についてカルテ情報や検査値を踏まえた処方の評価を実践し、ジェネラリストとしての薬学的知識を深める。また、全自動錠剤分包装機など、ハードを活用した業務効率化およびリスク管理について学ぶ。
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	全期間	4月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	医薬品の在庫管理、発注・納品、麻薬や向精神薬、筋弛緩薬等の適正管理を通じて、安定供給と法令遵守の実務を学ぶ。また、CubixxやNOVUMNといった医薬品管理支援システムの活用についても学修する。
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	2週間	8月～9月	鳥取大学医学部附属病院	薬剤部内に向けての新規採用医薬品情報の作成等を通じて、医薬品情報の収集・評価・加工・周知を行い、根拠に基づく情報提供能力を養成する。また、処方オーダーシステムの仕組みやシステム上の医療安全対策等についても学習する。
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	9ヶ月程度	7月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	入院後の持参薬鑑別から初回面談、退院時指導まで一貫した関与をする。医師・看護師等との多職種連携を通じ、チーム医療を実践的に学修し、患者個別の薬物治療管理の基本を身に付ける。
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	実施なし			
必修	(6) 医療安全 【全期間】	全期間	4月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	インシデントの解析と対策立案や、KYTなどの医療安全研修を定期的に行い、医療安全対策の基本を理解する。
必修	(7) 感染制御 【全期間】	全期間	4月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	院内の感染対策研修やAST活動への参加、病棟における標準予防策の実践等を通じて感染対策の意義や抗菌薬の適正使用について学修する。
必修	(8) 地域連携 【全期間】	全期間	4月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	術前外来では、患者より副作用、アレルギー、常用薬などの情報を入手し、院内の職員に共有するとともに、患者の状況に応じ、常用薬の整理(中止薬の抜薬を含む)などを薬局に依頼する。また、入院中の薬剤情報について他施設への情報提供を積極的に行い、地域全体での薬物療法支援を学修する。
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	1ヶ月程度	7月～8月	鳥取大学医学部附属病院	中心静脈栄養および抗がん剤調製を実施し、曝露対策、無菌操作の基礎を学ぶ。抗がん剤については閉鎖式接続器具を使用し、デバイスを活用した曝露防止策についても学修する。
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	6ヶ月程度	10月～翌年3月	鳥取大学医学部附属病院	調剤部門では化学療法の処方鑑査を実施する。病棟では化学療法施行患者に対し、初回説明、副作用モニタリングを行い継続的に関与していく。当院にはがん指導・専門薬剤師が複数在籍しており、専門的なアドバイスを受けながら、がん薬物療法の基礎的実践能力を培うことができる。
選択	(11) TDM	2週間	8月～9月	鳥取大学医学部附属病院	抗MRSA薬や免疫抑制剤について具体的な投与量の提案を行う実践的なトレーニングを実施する。薬剤ごとの動態特性を学び、患者個別の投与設計について理解を深める。
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児・産婦人科・精神科の薬物治療等)	3ヶ月程度	1月～3月	鳥取大学医学部附属病院	手術部・ICUなどの集中治療病棟研修を実施する。急性期における鎮痛薬・鎮静薬・麻酔薬・循環作動薬の使い方はじめ、急性期における薬物治療を学修する。
選択	(13) その他				
補足事項	自由記載				

(1) 調剤業務

研修目標 個別化医療を実現するための調剤業務の遂行とそれに必要な知識とスキルを修得する。

方略 セントラルで研修は実施し、全期間において他の研修と並行しながら、内服薬、外用剤、注射剤の調剤の研修を実施する。調剤業務研修では、処方監査時に医薬品情報のみで判断するのではなく、カルテ情報や検査値の確認を行い、医師の治療方針を把握した上で、患者の状態を考慮した適切な調剤ができるように指導する。また、医師への疑義照会および処方提案を研修者自身の判断でできるように指導する。麻薬調剤、院内製剤調製も実践させる。

(2) 医薬品の供給と管理

研修目標 医薬品の供給と管理体制を理解し、管理業務を実践する。

方略 セントラルで研修は実施し、全期間において他の研修と並行しながら、特別な管理を求められる医薬品も含め供給と管理を実践する。医薬品の品質の確保も含めた供給体制を理解し、院内の使用状況を踏まえた適正な在庫管理（医薬品の発注、納品時の検品、温度・期限管理を含む）を実践させる。また、特別な管理を求められる医薬品（麻薬、向精神薬、覚醒剤原料、毒劇薬等）について、法的理解も含め、適正な管理を実践させる。

(3) 医薬品情報管理業務

研修目標 医薬品情報を収集・評価し、整理・加工して提供するスキルを修得する。

方略 医薬品情報管理室で研修は実施し、研修期間は2週間程度とする。「情報提供業務」として、他職種からの投与量や相互作用等の日常的な問い合わせに対して、情報提供を行うとともに（受動的な情報提供）、DI ニュースの作成や患者向けのお薬情報資料の作成を行い、薬剤部からの積極的な情報発信（能動的な情報提供）を実践させる。「副作用報告」として、医師へ副作用等報告に係る啓発を行うとともに、収集した副作用等情報の評価を行い必要に応じてPMDAへ報告する。医薬品副作用被害救済制度・生物由来製品感染等被害救済制度を理解し、対象となる患者が発生した場合には、制度の概要説明や申請手続等の支援を実践させる。「院内採用医薬品の承認手続き等」として、医薬品の新規採用に当たって、その医薬品の採用の可否に係る資料を作成するとともに、医療安全も含め削除品目および切り替え薬品の選定に関わり、適正な在庫管理を検討する。

(4) 病棟業務

研修目標 入院患者と直接接することにより、患者の病態に応じた服薬指導やフォローアップ、コミュニケーションのスキルを高める。薬物治療の観点からチーム医療に参加し、他職種との関わり方を学ぶとともに、薬学的見地からの見解を発信する。

持参薬の服薬状況等の聴取を通じた薬物治療に関する問題点（ポリファーマシー等）の抽出、服薬計画の立案、入院患者へ服薬指導等を通して薬学的知見に基づく積極的な介入や提案を実践する。退院後の適切な薬物治療の継続のため、退院時カンファレンスの参加、情報提供書の作成・提供等により、地域医療（多職種）との連携を実践する。

方略 一般病棟業務室で研修は実施し、研修期間は9か月程度とする。「事前研修」として、病棟薬剤業務および薬剤管理指導の位置づけ、使用するシステム（PICS）、持参薬鑑別、初回面談、カルテ記録等について、講義を実施する。「病棟における担当患者との関わり」として、内科系および外科系を含む複数病棟で研修し、積極的に薬学的介入を実施した10症例について、PAPO形式でまとめ症例報告会で報告する。PAPO形式でまとめた症例報告書は、医学部附属病院教育研修委員会に実績として提出し、多職種から評価を受ける。「多職種との連携」として、病棟カンファレンスに参加し、医師の治療方針を学ぶとともに、薬学的観点から評価および提案を実施する。医療チーム（NST、緩和、心不全など）の活動に薬剤師と参加することで、多職種で行う患者ケアを体験し、多職種連携のためのスキルの修得やコミュニケーションを向上させる。

(5) 無菌調製業務

研修目標 適切な無菌的混合調製を理解し実践するスキルを身に付ける。

方略 製剤室で研修は実施し、研修期間は1か月程度とする。注射剤（抗がん剤、麻薬を含む）やTPNの無菌調製を行うとともに、配合変化や輸液管理（体液管理、栄養管理）について理解する。

(6) がん化学療法

研修目標 がん化学療法のレジメン管理や抗がん剤の調製、副作用や疼痛管理、支持療法薬の提案、投与計画への参画など基本的技能・知識を身に付ける。

方略 製剤室および病棟で研修は実施し、研修期間は6か月程度とする。当院のレジメンを理解し、処方監査を実践する。また、抗がん剤の調製には、閉鎖式薬物移送システムを利用し、曝露対策を実施する。病棟もしくはがんセンターで、患者の服薬状況や副作用の発現状

況について、薬学的観点から確認を行い、副作用や疼痛評価、他剤との併用による影響等について総合的な評価を実践し、必要であれば医師へ支持療法薬、減薬・休薬等の提案を実践する。また、緩和ケアチームにおいて、多職種で患者の QOL 向上に向けた方策を検討する機会を体験する。

(7) 医療安全

研修目標 医療の質を担保し、患者及び医療従事者にとって安全な医療を提供できる。特に医薬品の安全管理体制の確保のため、薬剤師として主体的な役割を果たす。

方略 全研修期間において医療安全を意識した業務を行う。オリエンテーションにおいて、医療安全の実務において医療安全ポケットマニュアルを用いて研修する。また、インシデント発生時の対応と記録方法等について理解する。薬剤部内の医療安全グループの活動に参加し、インシデント原因の調査分析や対応策検討に参画した 3 例について、レポートとして提出する。

(8) 感染制御

研修目標 医療現場に応じて感染症を発生させない環境整備や感染予防を実践する。感染症発生時（新興・再興感染症を含む）における感染拡大防止のための対応を図るなど感染制御に努める。

方略 全研修期間において感染制御を理解し、標準予防策を実践する。オリエンテーションにおいて、標準予防策としての手指衛生、個人防護具（手袋・マスク等）の適切な使用、代表的な感染症の予防策と適切な消毒薬について研修する。また、感染症発生時および針刺し事故等の事故発生時における初期対応を理解する。病棟業務では、抗菌薬選択の適否を検討するとともに、ICT および AST においてチームで環境整備および抗菌薬の適正使用推進の方策を検討する機会を体験する。研修者が関わった感染症症例 2 例について、抗菌薬の適正使用を含めた症例報告を実施する。PAPO 形式でまとめた症例報告書は、医学部附属病院教育研修委員会に実績として提出し、多職種から評価を受ける。なお、病棟業務での症例報告 10 例に含めてもよいが、そのうち 2 例は抗菌薬の適正使用について詳細に記載する。

(9) 地域連携

研修目標 病院と薬局の連携や地域の医師、看護師等との多職種連携等、地域連携の必要性を理解し、地域における患者中心の医療の実現に努める。

方略 全研修期間において地域連携を意識した業務を行う。薬局から報告されるトレーシングレポートについて、その記載内容の妥当性や重要性を評価し、医師へのフィードバックまでを実践し、必要に応じて薬局への情報提供を実施する。薬局からの疑義照会では、事前に診療科とのプロトコルを定めている項目を把握し、照会内容から必要に応じて医師への問い合わせを迅速に対応できるようにする。術前外来では、患者より副作用、アレルギー、常用薬などの情報を入手し、院内の職員に共有するとともに、患者の状況に応じ、常用薬の整理（中止薬の抜薬を含む）などを薬局に依頼する。また、退院時カンファレンス、退院処方に関する薬剤情報提供文書の作成等の転院先病院との連携を実践する。

(10) TDM

研修目標 血中濃度測定に関する基礎的知識や手順を理解し実践する。薬物特性と患者個々の状態に適した薬学的管理を理解し、指導薬剤師の指導の下、投与設計・処方提案ができる。

方略 試験研究室で研修は実施し、研修期間は2週間程度とする。試験研究室で血中濃度を測定している薬物については、測定操作を実践し、患者の生理機能や病状にあわせた適切な投与量提案を実施する。試験研究室で血中濃度を測定していない薬物については、カルテ等から得られた情報をもとに適切な投与量提案を実施する。

(11) ICUの薬物治療

研修目標 重篤度の高いICUの薬物治療など、困難度の高い薬物治療を理解する。

方略 重症病棟で研修は実施し、研修期間は3か月程度とする。ICUでは、対象患者は多くの合併症を有するため、その病態は複雑であり、多くの薬剤が使用される。多くの薬剤を併用することによって生じる薬物相互作用を予測するとともに、注射薬の配合変化を考慮した投与ルートを提案する。また、急激に変化する生理機能等を総合的に評価し、投与計画の立案を実施する。

4, 研修の評価

プロフェッショナリズム（付録1 研修者評価表I みどり色）、薬剤師として身に着けるべき資質・能力（付録2 研修者評価表I あお色）は、薬剤師臨床研修ガイドラインの評価表を用いて実施する。基本的薬剤師業務の研修項目に対する到達度評価は、薬剤師臨床研修ガイドラインで例示された「到達度記録・評価シート」に準ずるよう作成した当院の到達度評価シート（付録3 一部抜粋）で実施する。

プロフェッショナリズム（研修者評価表I みどり色）の評価は、研修修了時（3月中）に実施する。薬剤師として身に着けるべき資質・能力（研修者評価表I あお色）の評価は、研修期間中に3回（8月、12月、3月）実施する。評価は、研修者と指導薬剤師で確認しながら実施し、指導薬剤師からフィードバックを行う。

到達度評価シートは、研修者が定期的に自己評価し、自己評価日を記入する。また、1か月に1度程度、指導薬剤師による指導者評価を実施し、指導者評価日を入力する。指導薬剤師による評価は、研修者と確認しながら実施し、指導薬剤師からフィードバックを行う。なお、到達度は4段階で評価し、到達度を確認しながら、研修者に合わせた進捗管理を実施する。

0	できない	教わっていない
1	不十分	講義済みだが実践が不十分
2	ややできる	概ね実施できるが、指導者の確認が必要
3	できる	一人で実施できる（目標到達値）

改訂歴

2026年4月作成

付録1 研修者評価表 I みどり色

【研修者評価表 I】

研修者名 _____

評価者氏名 _____

(所属先)

評価期間

年 月 日 ~ 年 月 日

評価項目についてご留意ください		評価項目			※本項目は研修終了時に評価する	
	レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	期待値なし	
1. 社会的責任と企業活動への関与 社会の発展を促進し、経営責任を果たしつつ、優りある企業や社会の発展に貢献した立派な貢献の提供及び企業活動の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2. 社会的な態度 患者の幸福や不安の軽減と期待の向上を最優先し、患者の健康増進や救済に貢献を要する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の意と思いやり的心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4. 常に高める姿勢 自らの実践及び研修の内容を継続し、常に実質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<small>※「期待なし」が研修終了時に期待される状態とする。 対象に異なるコメントがある場合は以下に記述してください。特に「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。</small>						

項目	アセスメント	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
個人情報保護	個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いを適切に行うこと、個人情報の漏洩防止、不正アクセスの防止、個人情報の適正な取扱いの実施、個人情報の開示、訂正、削除の実施。	個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いを適切に行うこと、個人情報の漏洩防止、不正アクセスの防止、個人情報の適正な取扱いの実施、個人情報の開示、訂正、削除の実施。	個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いを適切に行うこと、個人情報の漏洩防止、不正アクセスの防止、個人情報の適正な取扱いの実施、個人情報の開示、訂正、削除の実施。	個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いを適切に行うこと、個人情報の漏洩防止、不正アクセスの防止、個人情報の適正な取扱いの実施、個人情報の開示、訂正、削除の実施。	個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いを適切に行うこと、個人情報の漏洩防止、不正アクセスの防止、個人情報の適正な取扱いの実施、個人情報の開示、訂正、削除の実施。
評価	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
対応	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
備考					

項目	アセスメント	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
セキュリティ	セキュリティ対策の策定、実施、評価、改善の実施。	セキュリティ対策の策定、実施、評価、改善の実施。	セキュリティ対策の策定、実施、評価、改善の実施。	セキュリティ対策の策定、実施、評価、改善の実施。	セキュリティ対策の策定、実施、評価、改善の実施。
評価	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
対応	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
備考					

項目	アセスメント	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
業務継続性	業務継続計画の策定、実施、評価、改善の実施。	業務継続計画の策定、実施、評価、改善の実施。	業務継続計画の策定、実施、評価、改善の実施。	業務継続計画の策定、実施、評価、改善の実施。	業務継続計画の策定、実施、評価、改善の実施。
評価	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
対応	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
備考					

項目	アセスメント	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
リスク管理	リスク管理の策定、実施、評価、改善の実施。	リスク管理の策定、実施、評価、改善の実施。	リスク管理の策定、実施、評価、改善の実施。	リスク管理の策定、実施、評価、改善の実施。	リスク管理の策定、実施、評価、改善の実施。
評価	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
対応	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
備考					

項目	アセスメント	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
コンプライアンス	コンプライアンスの策定、実施、評価、改善の実施。	コンプライアンスの策定、実施、評価、改善の実施。	コンプライアンスの策定、実施、評価、改善の実施。	コンプライアンスの策定、実施、評価、改善の実施。	コンプライアンスの策定、実施、評価、改善の実施。
評価	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
対応	計画	□	□	□	□
	実施	□	□	□	□
	評価	□	□	□	□
備考					

種別	学修内容	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート
卒業上の地区別修得 上履修認定の標準	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上地区、履修認定については規定する。卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。	卒業上の地区別標準はあり、卒業上の地区別の標準は認めない。
卒業時	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
卒業時	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
注記あり									

種別	学修内容	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート	レポート
卒業上の地区別修得 上履修認定の標準	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。	卒業上の地区別標準はあり、履修認定は標準とする。
卒業時	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
卒業時	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	英 語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
注記あり									

